

# めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所  
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243  
E mail miraiken@shiwa-mirai.com



## グループ紹介

### 志波三山県立自然公園指定促進協議会

紫波町のシンボル東根山から矢巾町の南昌山そして盛岡市の箱ヶ森へと連なる、標高 900 メートル前後の山並みが志波三山。この大自然の懐に入り、恵みに感謝しながら山歩きを楽しんでいるグループがこの協議会です。会の名称は硬いが実はとても行動的で、自然環境保護から歴史学習まで幅広く活動しています。現在会員は 50 名、年会費 1,000 円です。

会としての登山は5月の三山縦走登山と10月の半縦走登山があり、いずれも全県から 100 名以上の参加者でにぎわいます。また、11月3日には恒例の「ふるさとの文化遺産再発見の旅 稲荷街道を歩く会」が開催され、盛岡城跡公園から志和の稲荷神社まで 20 キロコースを踏破しますが、これは南部のお殿様の稲荷参詣にあやかっの行事でもあり、道々歴史の跡を辿りながら先人の知恵や想いに感動しています。中高年の健康志向の高まりやトレッキングブームとも相俟って、参加者が増えてくるものと思われます。協議会では新会員を募集しています。ご希望の方は右記までご連絡下さい。

また、会の大切な柱である、自然環境保護活動として登山口や登山道周辺の清掃活動があります。今年は、西部開拓道路の清掃活動を 10 月に予定していますが、いつも稲荷街道として歩いているこの道は近年車両の通行がかなり増えて、道端へのゴミのポイ捨てがひどく、相当のゴミの量になるのではないかと思います。昔から農作業の目安として親しんできた大切な山々を、我々の時代に汚してしまうことのないようにしたいものです。

あなたもこの清掃活動に参加してみませんか？

#### 今後の活動予定

10月19日(日) 第7回 志波三山半縦走登山会  
(南昌山 箱ヶ森 元簡保の宿)

10月26日(日) 西部開拓道路の清掃活動  
午前8時より 集合場所 稲荷神社前

11月3日(祝)「稲荷街道を歩く会」  
(盛岡城跡公園 志和稲荷神社約20キロ)

お問合せ 志波三山県立自然公園指定促進協議会

会長 菅原三郎(矢巾町 697-2987)

副会長 原修(紫波町 672-2650)



歩き終わって集合写真パチリ！



清掃作業の様子



# 大正園里山づくりプロジェクト開催しました！

東京の國學院大学の学生や教授のみなさんと地元の住民が協働で行なう里山づくり。國學院大学が参加するのは、今年で5年目。紫波みらい研究所がコーディネートをしている。これまでに山屋地区・彦部地区の住民と里山づくりを行った。

今年は、8月2日～3日、大巻地区「大正園」において、地元住民と交流を行いながら、里山づくりに汗を流した。

國學院大学の学生が紫波町の山に魅せられるのはなぜだろう。



大正園で真剣に里山づくりに取り組む國學院大学のみなさんと地元住民

## 心と心のつながりが里山を再生！

國學院大学の学生を受け入れるために、地元大巻地区では何回も打ち合わせの時間をとった。

中には、受け入れに否定的な方もいたかもしれない。でも、終わってみると学生と地元住民の間には、親子以上の心のつながりが芽生えていた。

大正園の里山づくりは、大巻地区の以前からの整備計画で、学生を受け入れるために持ち上がった計画ではないのだが、紫波町に毎年通い続けている学生の気持ちに「おいで！」と答えてくれたのだ。

学生たちが作業した後の山は、これまでの里山づくりプロジェクトのように、太陽の光が差し込み、森がゆったりと呼吸を始めた。

この里山で地元の子もたちが集い、遊ぶ姿を見られるのは、そう遠くないだろう。

### 大正園

「彦部村誌」によると、大巻館あるいは館平といい河村四郎秀清の居館だった。大正元年に当時の彦部村の事業によって頂上部分の整備を行い、大正園と命名された。現在も堀の形が明確に残っている歴史のある里山である。



作業が終わってみんなで記念撮影。  
おいしい小昼を食べたなつかしい場所。



## 星山ツーリズム 開催しました！



じゃがいもの収穫に笑顔の参加者たち

8月2日～3日、みらい研究所主催で紫波町初のグリーンツーリズムを行なった。都市部から参加した方々は、初めての野菜の収穫や牛のえさやり、お米の精米、薪割りなど星山の魅力を存分に体験したと思う。また、星山地区の皆さんも参加者をおして、地元の魅力を改めて見つめ直したのではないだろうか。今後は、星山地区だけではなく、紫波町の全地域で受け入れができ、交流人口の増加につながればと考えている。



# イベントカレンダー

## 彦部公民館作品展

9月17日～10月14日(火)

時間 9時～16時30分  
会場 野村胡堂・あらえびす記念館  
内容 日本画・陶芸・写真展示  
料金 記念館入館料 300円  
問合せ 彦部公民館 TEL 676-4670

## 食育推進フォーラム

～まんずたべよう！食から築く紫波のみらい～

10月5日(日)

時間 13時～16時30分  
会場 ナックスホール  
内容 講演会「～食は生きること～」  
講師：野崎洋光氏  
食を語ろう  
問合せ 紫波町農林課 TEL 672-2111

## 水分の里山林再生活動

10月5日(日)

時間 9時45分～15時  
集合 東根山登山口  
内容 森林学習、刈払い、間伐  
弁当、飲み物、汁わん持参  
問合せ 千葉 TEL 661-4174

## 紫波町内平泉関連史跡めぐり

10月5日(日)・11日(土)・11月9日(日)

時間 9時15分～15時30分  
集合 紫波中央駅前  
募集 40人(最終催人25人)  
料金 3,500円(昼食付)  
問合せ 紫波中央駅前観光案内所 TEL 671-2245

## 心花 25絃箏ユニット

「一想花」発売記念コンサートツアー

10月6日(月)

時間 18時30分開演  
会場 野村胡堂・あらえびす記念館  
料金 前売2,000円当日2,500円  
(協力会員500引)  
問合せ 記念館 TEL 676-6896

## 第3回稲藤一のそば新そば祭

10月12日(日)

時間 10時～16時  
会場 ラ・フランス温泉館交流プラザ  
内容 新そばの販売、そば打ち体験(要予約)  
子供わんこそば大会(要予約)  
料金 前売り1,000円(入浴券付+そば)  
そば打ち体験別途1,000円  
問合せ ラ・フランス温泉館 TEL 673-8555

## 第26回野村記念講座

10月19日(日)

時間 13時30分～  
会場 野村胡堂・あらえびす記念館  
内容 講演会「音楽と放送」  
講師：斉藤茂氏  
コンサート  
料金 記念館入館料 300円  
問合せ 記念館 TEL 676-6896

## 平成の森～動物と共生する森を創ろう～

11月2日(日)

時間 9時～14時  
場所 平成の森(町有林)  
内容 自然観察会、植林・補植  
どんぐりのポット苗づくり  
弁当、飲み物、汁わん持参  
問合せ 紫波みらい研究所 TEL 671-2244

## 藤原清衡の浄土思想を訪ねる旅

11月9日(日)

時間 8時50分～16時30分  
集合 紫波中央駅前  
募集 40人(最終催人25人)  
料金 7,500円(昼食付)  
問合せ 紫波中央駅前観光案内所 TEL 671-2245

イベント情報をお待ちしています。  
紙面の都合で掲載されない場合がありますが、  
ご了承ください。

# 平井邸をご活用ください！

故原 敬首相との関わりで知られる日詰商店街の中の旧家平井邸が、当家の御好意で、まちづくりのために広く町民に利用させていただけることになりました。窓口になる「よんりん舎」では、希望する人、団体が誰でも利用できるように、その利用規程を定めました。現在、さまざまな講座や集会等に好評で、今後も利用者が増えると思われるとのこと。利用したい方はどうぞ早めのご予約を。

|                |         |       |       |
|----------------|---------|-------|-------|
| 使用管理費<br>(見学料) | 中学生以上   |       | 小学生以下 |
|                | 200 円   |       | 無料    |
| 利用料<br>(1 時間)  | 2 階大広間  | 1 階和室 | 土間    |
|                | 1,000 円 | 500 円 | 500 円 |



平井邸

平井邸利用及び空き店舗の問合せ  
株式会社よんりん舎 電話 671-1755



## 空き店舗の実験的活用

日詰商店街で10月から

現在日詰商店街では11軒が空き店舗になっていますが、商店街の活力を呼び戻す一策として、このほどまちづくり会社「よんりん舎」が中心になって、空き店舗活用の実験をすることになりました。これは東北経済産業局の補助金事業として行われるもので、商工会と町の商工観光課もバックアップしています。

期間は「くらしの道」完成予定の10月から来年1月までの4ヶ月間、使用店舗は、盛岡信用金庫紫波支店向かいの、もとの「ヒノヤ呉服店」。

さまざまな試みを積極的に行うことで、実験期間後には他店舗でも継続的に行えるものに発展出来たら、というのがねらいだそうです。様々なイベント、講座、展覧会、販売活動等々、家賃や経費の心配をしなくてよいこの機会に、こういうものを実験的にやってみたいという希望のある人は(単発的なものでも継続的なものでも可)、どんどん「よんりん舎」に相談していただきたいとのこと。



## 行雲流水(3) - ごみ問題の元凶 -

ラ・フランス温泉館前を通って盛岡へ至る道、通称稻荷街道には、近年とみにゴミが多くなつたとか。車の通行量が増えるに従つて、ポイ捨てが多くなつたらしい。毎年この道の清掃活動に関わっている人が、「自分の車の中はきれいに、ゴミはどこへでもポイポイ投げ捨て、という人が余りにも多くなつた」と嘆いておられた。この話で思い出したことがあつた。十年前も前、二十代の頃、東京から車で来る人がいた。学歴もあり、如才なく話術も巧みで、こんな人となら毎日楽しいだろうと、遠路はるばる来るひとを、いつとはなしに心待ちにするようになった。そして何回目かのある日、その人の車に同乗して海へ案内した。港に着き、車を降りるとその人は、あろうことか、海を眺めるよりも前に、岸壁からゴミの入ったポリ袋をポイと投げ捨て、せいせいしたというように両手を払つた。あつ、と思う間もなかつた。「海が汚れますよ」と言つたら、「海は広いから平気」とその人は笑つた。都会生まれの都会育ちはこんなものか、とすっかり幻滅した。海は広い、山は広いと、自然の懐で生活してない者ほど自然を無造作に扱って平気、な気がしてならない。(三)



「めぐりっと紫波」編集協力団体

紫波トークセッション さくら製作所

「めぐりっと紫波」は、毎回多くの人の手を借りながら、皆さんとともに歩んでいます。

次回も楽しい話題・活動紹介など、盛りだくさんでお届けします。次回は、11月発行予定です。